



人権と平和は  
21 世紀のキーワード

〒720-0061 福山市丸之内 1-1-1

TEL 924-6789 FAX 924-6850

[jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:jinken-heiwa-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp)

### 人権平和資料館

## 開館 20 周年を迎えました



たまたま通りかかったので、入館しました。このような資料館は、前もって知識がないと入りにくいのですが、ここでは、先ずビデオを見せてくださったので、展示物の内容がよく理解できました。企画展示の内容も見応えがあり、考えさせられました。

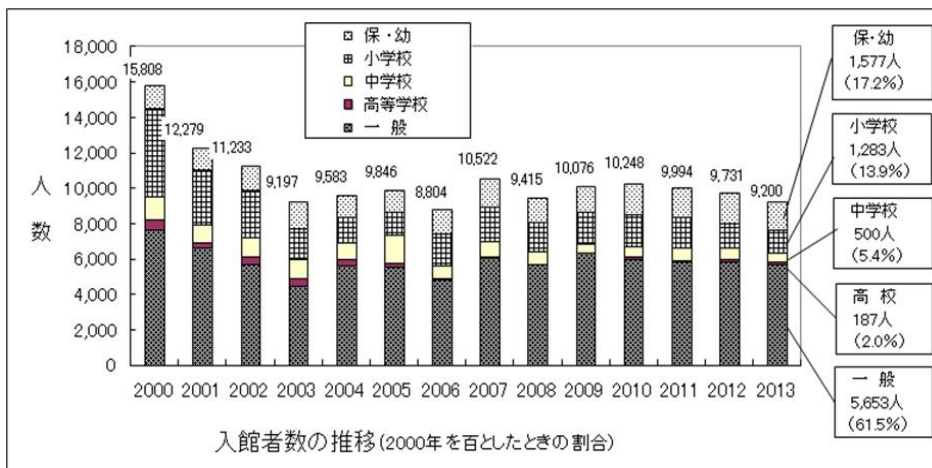


先日、貴館を訪れた者です。多忙な中、とても親切に解説してくださり、ありがとうございました。おかげ様で道徳の指導案もまとめ、絵本「母と子の八月八日」を題材にした授業が出来そうです。戦後 68 年が過ぎましたが、戦争の真実を受け止め、平和を守り抜くためにも、これからの世代を担う子どもたちに、しっかりと心の教育をしていかなければと強く思っています。



このようなテーマの資料館は、全国的にもめずらしいですね。維持するのは大変だと思いますが、人権・平和は、いま人類が最も大切にしなければならぬ問題だと思います。私の住む町に帰って、この資料館の存在を広めていきたいと思っています。

このような入館者の暖かい声に支えられ、この夏で開館 20 周年を迎えます。この間の入館者は 23 万 3 千余名を数えますが、ここ数年は、年間 1 万人前後を推移しています。最近では県内外の団体が、定期的に利用されることも増えてきました。これからも皆様のご期待に添えるよう、企画内容や入館者への対応を充実させていく決意です。



## 2014年度（平成26年度）福山市人権平和資料館 企画展（前半）

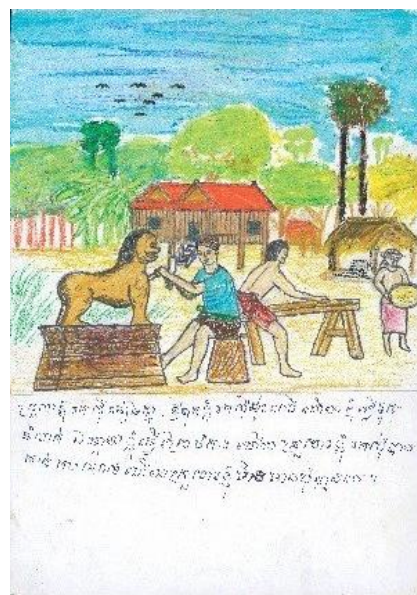
### 1. 企画展名 三菱アジア子ども絵日記展 「伝えたいな、わたしの生活」

期 間 4月17日（木）～ 5月31日（土）

内 容 国連は1990年を「国際識字年」と定め、「すべての人々が読み書きできる世界を」と、各国に識字活動と呼びかけました。日本でもこの目的に賛同して、（公社）日本ユネスコ協会や三菱広報委員会などにより、国際文化交流事業「絵日記フェスタ」が始まりました。

絵日記を描いたり読んだりすることで文学を学んでほしいという願いと、子どもたちが絵日記を通じてお互いの文化を理解・尊重し、ともによりよい未来を築いてほしいという願いを込めて続けられています。

現在では、アジアの25の国と地域の子子どもたちが参加し、「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」として、第11期まで継続して実施されており、今回展示するものはグランプリ作品です。



カンボジアの子ども

### 2. 企画展名 絵で語る「子どもたちの太平洋戦争」

期 間 6月6日（金）～ 7月31日（木）

内 容 岡田黎子（画集の作者）さんは、自らの学童期の戦争体験を“語り画集「子どもたちの太平洋戦争」（文芸社）”として出版されました。

画集には、当時の子どもの学校生活や国民が戦時体制に組み込まれていく様子が、子どもの視点からの体験を通して、優しい語り口で幻想的に描かれています。

国民が経験した戦時中の苦しい生活を語り継ぐこの画集を、多くの子子どもたちに見てもらいたいと考え、パネルに編集しました。



出征兵士～小学校2年生



勤労奉仕～女学校1～2年生

### 3. 企画展名 ノーモア！ヒロシマ・ナカサキ 「原爆と人間」

期 間 8月1日（金）～ 8月31日（日）

内 容 広島・長崎に投下された原子爆弾は、一瞬にして街を破壊しつくし、二つの都市で20万人以上もの生命を奪いました。生き残った人は、現在でも放射能の障がい苦しんでいます。「核兵器による被害者を再びつくりたくない」との願いをこめて制作された写真集「原爆と人間」（日本原水爆被害者団体協議会）を通して、核兵器の廃絶と平和の大切さを訴えます。